学校番号	1009

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学は身の回りにある自然がどのようになっているのか、どのようにつくられてきたのか、そして将来どのようになるのかを知り、考える学問です。
地学の知識は社会生活で役立つことがたくさんあります。防災という直接的なものだけでなく、星座を知っていたり、観光地の景色の成り立ちを知っていたりすることで、人とのコミュニケーションに役立つ機会がたくさんあり、人生を豊かにしてくれます。
この授業では、知識だけでなく実際に見たり手を動かしたり調べたりすることで、長く心に残る体験を提供します。
２年次に地学基礎を選択していない人も選ぶことができます。ぜひ一緒に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

身近な地学現象を知り、実習を通じて自然についての興味・関心を深める。
学んだ内容を、社会に出てからも生かせるようになる。
災害の多い日本について基礎知識を得る。

(1) 身近な地学現象にはどのようなものがあるのか、またその成因について正しい知識を得る。【知識・技能】
(2) 正しい知識の上に、自分の身の回りで起こる地学現象にはどのようなことが起こる可能性があるのかを考え、その対処法について考察する【思考・判断・表現】
(3) 今までとは違った視点で自然を見ることができるようになり、各地にある地形や自然についての説明板をしっかり読んで理解しようとする態度が育つ。【主体的に学習に取り組む態度】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地学や地学現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。観察、実習などを通して基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	獲得した知識を組み合わせ、多面的な思考ができ、その中でよりよい選択ができる。自分の判断を確認する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活の中にある地学現象に関連づけて、その成因について意欲的に探究しようとする、気づいたことを日常生活に還元しようと常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	星座	人類は星の観察のため、星座を作り出した。日本から見える星座の位置、形、神話を知り、文化祭で紹介できるようになる。	a:各季節の星座の位置、形を覚え、プラネタリウムを扱える。 b:プラネタリウムを鑑賞する人がわかりやすい星座の紹介順を考える。 c:自分で星座神話を調べ、発表する。	定期考査 実習	定期考査 実習	実習 調べ学習
	自然遺産	各地にある自然遺産にはどのような特徴があるのか、どのようにしてつくられたのかを調べ、紹介する。	a:自然遺産について、その特徴や成因を理解する。 b:自然遺産を紹介するプレゼンシートをつくる。 c:多くの自然遺産から紹介する遺産を選ぶ。	定期考査 実習	定期考査 実習	実習 調べ学習
2学期	化石	(文化祭で1学期の成果を発表する) 紡錘虫化石の入った石灰岩を磨き、隔壁などの特徴を調べ、種の特定に挑戦する。	(c:機材設置、ポスター作成、発表準備、宣伝) a:紡錘虫がどのような生物かを知り、磨き方を習得する。 b:資料を基に種を特定する。 c:特徴のわかる化石断面が出るよう磨き方を工夫する。	定期考査 実習	定期考査 実習	(発表) 実習
	自然災害	自然災害の多い日本。どのような災害があり、被害を防ぐ対策や災害時の心構え、被災後に私たちができることについて考える。	a:自然災害の現状、原因について理解する。 b:防災対策について考え、発表する。 c:１つの災害を選び深く調べる。	定期考査 実習	定期考査 実習	実習 調べ学習
3学期	大阪の地史	大阪の現在の地質区分から、江戸・弥生・縄文・氷期・六甲変動・中生代と遡りながらどのようにして現在の大阪がつくられたかを学習する。	a:大阪の地質がどのようにして作られてきたのかを理解する。 b:何が原因で地質が変化していくのかを基に、将来の大阪の姿を考える。 c:他の地域ではどのような変動があったのかを調べる。	定期考査 実習	定期考査 実習	実習 調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度